■表面

社会科学研究所　社研とは

東京大学は、15の大学院研究科と11の附置研究所から成っています。社研は、その附置研究所のひとつです。

社研は1946年、以前の学術と大学のあり方に対する反省のうえに立ち、「正確な資料を組織的・系統的に収集すること、厳密に科学的な比較研究を実施することをつうじて、民主主義的平和国家の建設に資すること」をめざして設立されました。設立以来、その理念とともに研究を重ね、2016年に創立70周年を迎えました。

研究スタッフの専門分野は、法学・政治学・経済学・社会学という社会科学の4つの分野にまたがり、研究対象とする地域は、日本をはじめ、東アジア、ヨーロッパ、アメリカに広がっています。研究スタッフは大学院・学部の教育活動にも参加しています。

このような学際性と国際的視野とを活かし、理論・歴史・国際比較の観点から、日本と世界が直面している問題を総合的に研究することが社研のミッションです。

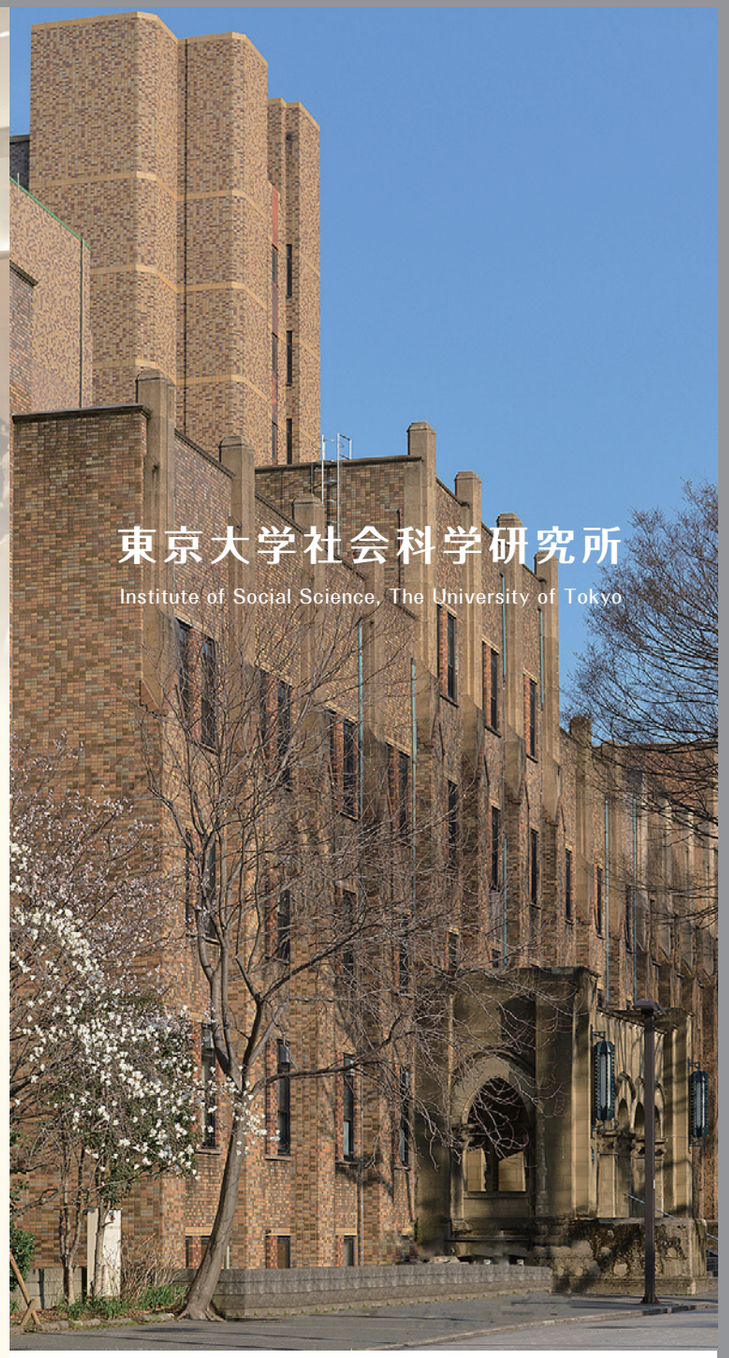
Meridian 180 Global Summit（危機対応学HPより）

釜石市での危機対応学公開シンポジウム

次の70年へ

Institute of Social Science
The University of Tokyo
東京大学社会科学研究所

東京大学社会科学研究所
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1　URL http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/



東京大学社会科学研究所

Institute of Social Science, The University of Tokyo

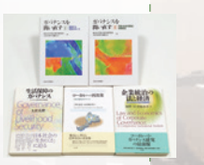
東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

社会科学研究所の課題と任務

Ⅰ. 全所的プロジェクトによる学際的な研究の推進

社会科学研究所では、法学、政治学、経済学、社会学という異なる学問分野の研究者が集まり、各人の専門分野における基礎研究、グループ共同研究、全所的プロジェクトをつうじて、学際的研究を進めています。全所的プロジェクト研究は社会科学研究所の中心的な活動です。近年では「希望の社会科学」(2005-08年度)、「地域主義比較」(同)、「ガバナンスを問い直す」(2010-13年度)を実施しました。

2016年度からは「危機対応の社会科学」を開始しています。



Ⅱ. 社会科学研究を発展させる研究インフラの構築

社会科学研究所では、実証的社会科学研究の基礎を形成するために、1996年に日本で初めての本格的なデータアーカイブ(SSJDA)を開始しました。SSJDAは現在、2,000以上社会調査データを公開し、年に4,000名以上の研究者により利用されています。また、収集した一次データの二次分析を実施しています。

図書室では、日本を中心にアジア・欧米・ロシア・東欧に関する図書や資料の収集・整理を進めています。その所蔵は、図書35万冊、雑誌7,500種類、マイクロ資料31万点以上にのぼり、学部・大学院の学生や学内外の研究者に広く利用されています。

Ⅲ. 世界の社会科学的日本研究の牽引

社会科学研究所では、現代日本社会に関する国際英文学術雑誌 Social Science Japan Journal (SSJJ)を編集しています。SSJJはオックスフォード大学出版局より刊行され、国際学術雑誌の証明である社会科学学術文献引用索引(SSCI)に公式登録されています。

また日本社会のタイムリーなトピックを特集する英文ニュースレターSSJ Newsletterを発行しています。現代日本を研究する研究者を、海外から客員として受け入れていることも、社会科学研究所の特徴です。

社会科学研究所の研究体制と研究活動(3つの層と3つの柱)

■ 研究体制

- 附属社会調査・データアーカイブ研究センター(共同利用・共同研究拠点)
  - SSJデータアーカイブ、JGSS、社研パネル調査、二次分析推進
- 比較現代法部門
  比較現代政治部門
  比較現代経済部門
  比較現代社会部門
  国際日本社会部門
- 社会科学的日本研究の国際発信
  英文雑誌SSJJ、SSJ Newsletter、客員システム、SSJフォーラム

■ 研究活動の3つの柱

調査の実施	共同研究の推進	研究インフラの構築
社会調査(パネル調査) 地域調査(釜石市・福井県) 外国調査(中国・韓国・欧米)		SSJデータアーカイブ 日本研究の図書収集 アジア研究の図書収集

■ 研究活動の3つの層

- **全所的プロジェクト研究**
  2005~2008「地域主義比較研究」「希望の社会科学」
  2010~2013「ガバナンスを問い直す」
  2016 ~「危機対応の社会科学」
- **グループ共同研究**
  ディシプリン型
  ディシプリン横断型
- **専門分野の基礎研究**
  スタッフ各自の専門研究